

げんでんふれあいギャラリー展示のお知らせ



◀こちらから
げんでんふれあいギャラリーの
ホームページをご覧ください

◆**敦賀水彩画教室作品展** 3月2日(火)～7日(日) 最終日は15:30まで
柴田 邦彦 先生(日本美術家連盟会員)を講師にむかえ、2019年6月より活動を始めた敦賀水彩画教室の皆さまによる水彩画展です。これまで描いた作品36点を展示中です。



◆**第6回 木上 紀治 水彩画展** 3月16日(火)～21日(日)
当ギャラリーでは6回目となる木上 紀治 様の水彩画展です。敦賀の街角をテーマとした作品の他、長浜市、高島市などの風景を描いた作品35点を展示予定です。

◆**PHOTO CLUB「宙」展-課題作品「ひかり」&自由作品-** 3月23日(火)～28日(日)
PHOTO CLUB「宙」(代表:木村 多恵子 様)の8名の皆さまによる写真展です。「ひかり」をテーマとした作品と、それぞれの思いを表現した自由作品24点を展示予定です。



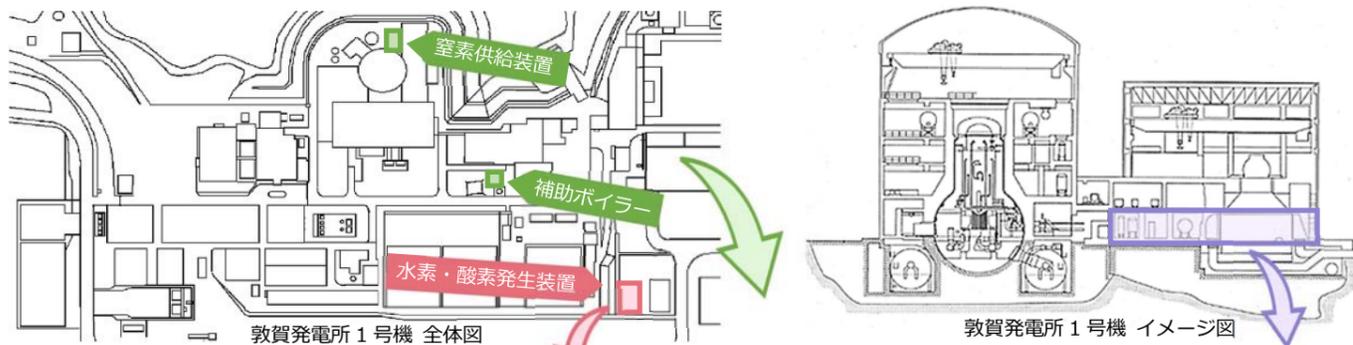
◆**逸遊会 気の向くままに楽しく描こう会!** 3月30日(火)～4月4日(日)
逸遊会(代表:杉田 司子 様)の3名の皆さまによる絵画作品30点を展示予定です。水彩やアクリルで表現された風景画や静物画、抽象画などをぜひご覧ください。

お問合せ げんでんふれあいギャラリー 敦賀市本町2丁目9-16
フリーダイヤル 0120-749-201 FAX 0770-25-5603
開館時間 10:00～16:30※ 休館日 12月29日～1月3日
※新型コロナウイルス感染予防対策のため、開館時間を短縮しています。
http://www.japc.co.jp/tsuruga/fureai/event/index.html



敦賀発電所 1号機 廃止措置工事の状況

2020年7月1日から実施していた**水素・酸素発生装置(水電解装置)解体工事**は、計画どおり本年2月4日に完了し、人身災害、火災発生およびHE(ヒューマンエラー)発生のゼロを達成しました。引き続き、**補助ボイラーおよびコールドエバポレーター(窒素供給装置)解体工事**、**タービン補機冷却系熱交換器他解体工事**を行っています。



<p>完了</p> <p>水素・酸素発生装置(水電解装置)解体工事 (2020年7月1日～2021年2月4日)</p> <p>解体前</p> <p>解体後</p> <p>サージタンク 電解槽</p>	<p>工事中</p> <p>補助ボイラーおよびコールドエバポレーター(窒素供給装置)解体工事 (2021年2月～7月)</p> <p>補助ボイラー</p> <p>コールドエバポレーター(窒素供給設備)</p>	<p>工事中</p> <p>タービン補機冷却系熱交換器他解体工事 (2021年2月～9月)</p> <p>補機冷却水ポンプ</p> <p>補機冷却系熱交換器</p>
---	--	--

※上記の各写真は、解体工事における主な解体設備を示しています。

本資料の作成元・お問合せ先: 日本原子力発電株式会社(略称:げんでん) 敦賀事業本部 立地・地域共生部
TEL: 0770-25-5713 住所: 敦賀市本町2-9-16

げんでん いんぷおめーしょん 3月号

1. 敦賀発電所の状況 (2021年3月2日現在)

プラント(炉型)	状況
1号機(沸騰水型)	<p>●2017年5月15日より廃止措置工事中(廃止措置期間:24年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2015年4月 営業運転終了 ○水素・酸素発生装置(水電解装置)解体工事(2020年7月1日～2021年2月4日) ○補助ボイラーおよびコールドエバポレーター解体工事中(2021年2月22日～) ○タービン補機冷却系熱交換器他解体工事中(2021年2月22日～) <p>廃止措置とは、運転を終了した原子力発電所を解体・撤去し、これに伴い発生する廃棄物を処理・処分し、更地にするまでの一連の作業・措置のこと。</p>
2号機(加圧水型)	<p>電気出力116.0万kW, 1987年2月17日の営業運転開始以降の総発電電力量1922億9908.3万kWh</p> <p>●2011年8月29日～ 第18回定期検査中</p> <ul style="list-style-type: none"> ○福島第一原子力発電所事故を踏まえた安全対策を行っています。 ○2015年11月5日に新規規制基準への適合性確認審査のための申請を行い、現在審査対応中です。対応状況は、以下をご覧ください。

= 敦賀発電所 2号機の新規制基準への適合性確認審査の状況について = (2月号でお知らせ済み)

原子力規制委員会による審査は、敷地内破砕帯評価と地震動評価(地震の揺れ)の二つの論点について並行して進められています。

昨年2月の審査会合で、敷地内破砕帯評価に関して、発電所敷地北側にある断層(K断層)と2号機原子炉建屋直下にある破砕帯との関連性について当社から説明いたしましたが、当初審査資料に記載していたボーリングコアの肉眼による観察結果を削除し、詳細データである顕微鏡によるコアの薄片観察結果のみの記載に変更したことについて、不適切であるとのご指摘を受けました。

このご指摘に対して、6月および10月の審査会合において記載の変更に至った経緯や理由、資料作成業務の改善点などを説明した結果、適合性確認審査が継続されることとなりました。原因分析の内容や業務の改善状況については、審査とは別に、原因調査分析に係る検査(品質保証に係る検査)の中で確認していくこととなり、11月の公開会合でボーリング柱状図作成の業務フロー、原因分析結果などについて当社から説明を行い、さらに12月14日および15日の当社本店での検査において、関連する記録・文書などを提示し、確認いただきました。今後は更に詳細に原因の深堀りを行い、必要な改善策を検討してまいります。

当社は、引き続き、安全審査ならびに品質保証に係る検査について、真摯に対応してまいります。

2. 敦賀発電所 3, 4号機準備工事の状況 (2021年3月2日現在)

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化管理等の建設予定地維持管理およびコンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続して行っています。



建設予定地の状況(2021年2月24日撮影)

3. トピックス

(1) 敦賀発電所 消防総合訓練を実施

2月8日、敦賀発電所において、敦賀美方消防組合と連携した消防総合訓練を実施しました。

今回の訓練では、大規模地震の発生より敦賀発電所構内において複数の火災と負傷者が発生したことを想定し、敦賀発電所自衛消防隊と敦賀美方消防組合が連携して迅かつ的確な消火活動ができることや、適切な情報の収集・共有および負傷者救護ができることなどを確認しました。

今後も継続的に訓練を実施し、更なる安全確保に努めてまいります。



指揮をとる災害対策本部長（発電所長）
（写真中央）



敦賀美方消防組合（写真右）と
連携した前進指揮所の様子



消火訓練の様子
（写真右奥：敦賀美方消防組合
手前：敦賀発電所自衛消防隊）



負傷者救護訓練の様子

(2) つるが国際シンポジウム 2020 に参加

2月10日、11日の2日間、文部科学省主催の「つるが国際シンポジウム 2020～クリアランスって何？その課題は？～」がオンラインにて開催され、当社からは廃止措置プロジェクト推進室長が参加しました。

当社は、茨城県の東海発電所で日本の商業用原子力発電所では初めて廃止措置工事に着手し、廃止措置のパイオニアとして工事で得られる技術の蓄積に努めています。当社はこれらの経験に基づき、本シンポジウムにおいて廃止措置工事の状況やクリアランス利用実績について紹介し、クリアランス制度の普及や国民理解に関する意見交換を行いました。



パネルディスカッションの様子



当社廃止措置プロジェクト推進室長
による講演の様子
（場所：若狭湾エネルギー研究センター）

クリアランス制度

原子力発電所の解体などで発生する金属やコンクリートなどについて、自然界の放射能レベルと比較して極めて低いものを一般のリサイクル物や産業廃棄物として再利用または処分することができる制度。

(3) 本年度新入社員研修（後期）を実施

当社は、将来を担う人材として今年度の新入社員に対し、2月8日から10日、後期研修を行いました。当社の新入社員研修は4月採用時の導入研修に加え、入社後1年間の振り返りを含めて、この時期に後期研修を行っています。例年、新入社員の勤務地（本店・東海・敦賀）から敦賀総合研修センターに全員を集めて行っていますが、本年度は新型コロナウイルス感染防止のため、各々の勤務地においてオンラインを活用して参加する方式に変更しました。

参加した若い仲間たちにとって、「安全文化に関する基礎知識」や「2年目社員に向けた意識醸成研修」などの実践的な内容を含めた研修から得られた知識やスキルは、今後の更なる成長に繋がるものと考えています。

当社は引き続き、地域の皆さまへの貢献と原子力人材の育成に努めてまいります。



新入社員研修の様子
（敦賀総合研修センター）

オンラインでの講義
（本店）



4. 次世代層への教育支援活動

・小学校への出前授業を実施

「出前授業」は、次世代層に科学やエネルギーに興味を持ってもらうため、福井県内の学校に当社社員が出向いて理科の授業のお手伝いをする活動です。敦賀市立粟野南小学校において1月26日に3年生を対象とした「磁石につけよう」、2月2日に5年生を対象とした「電流の働きについて考えよう」の授業を行いました。

「磁石につけよう」の授業では磁石につくもの・つかないものを調べて磁石の性質について学習し、「電流の働きについて考えよう」の授業では電磁石を利用したモーターの仕組みを学習した後、空き缶ひろい機を作りました。

授業を受けた児童の皆さんからは、「学校の授業の復習ができて、よくわかった」、「実験が楽しかった」、「空き缶ひろい機は、家で使いたい」などのご感想がありました。

当社はこれからも次世代層への科学・エネルギー教育について様々な支援を行ってまいります。



アルミ缶は磁石にくっつくかな？
（粟野南小学校3年生）



電磁石の力を体感！
（粟野南小学校5年生）



電磁石を利用した空き缶ひろい機を作りました（粟野南小学校5年生）

5. 主な報道発表（2021年2月1日以降）

詳細な内容は当社ホームページ <http://www.japc.co.jp> をご覧ください。



◀こちらから
当社ホームページを
ご覧いただけます

2月
26日

敦賀発電所1号機 廃止措置計画変更認可について

敦賀発電所1号機の使用済燃料プールにて保管している使用済燃料の発熱が十分低下したことに伴い、設備の維持管理を見直すことなどから、2020年9月4日、原子力規制委員会に対して廃止措置計画変更認可申請を行いました（2020年9月4日お知らせ済み）。その後の審査を踏まえ、性能維持施設の維持管理に係る記載を一部追加し、1月12日に原子力規制委員会に対して廃止措置計画変更認可申請の補正を行い、2月26日に原子力規制委員会から認可をいただきました。

6. 敦賀総合研修センター公開研修のご案内

2021年度、敦賀総合研修センターでは、新型コロナウイルスの感染予防対策を講じたうえで29コースの公開研修を計画しています。以下は申込み期限が近づいているコースの内容です。その他の公開研修コースの詳細、応募方法はQRコードまたは下記URLから当社ホームページをご覧ください。

なお、当面の間、新型コロナウイルス感染防止対策の観点から、福井県以外の地域からの受講申込みをお断りしています。ご迷惑をおかけしますが、ご理解いただけますようお願いいたします。

<http://www.japc.co.jp/tsuruga/tsuruga-training/index.html>



◀こちらから
敦賀総合研修センターの
ホームページをご覧いただけます



敦賀総合研修センター

研修名	研修概要	研修期間	申込期限
現場管理コース	現場作業で必要となる労働安全・設備安全を確保するために必要な管理技術について、日常的に実践で役立つ事項および災害発生時に役立つ対処方法などを学びます。本コースは、原子力作業現場に限らず、一般作業現場においても有益な研修です。	5月 27日	4月 16日
安全体感コース	高所作業や玉掛け作業、回転体への巻込まれなど作業の危険性や回転体に潜む危険を疑似体験することにより、安全意識の向上と危険回避能力の向上につながります。原子力発電所に関する現場の他に、一般の工場、工事現場でお仕事をされている全ての方に有益な研修です。	5月 27日	4月 16日

公開研修に関する
お申込み・お問合せ先

敦賀総合研修センター（敦賀市沓見165号9番地6）
電話：0770-21-9700 FAX：0770-21-9726（応募申込専用）
メールアドレス：tsuruga-tr-center@japc.co.jp